

新島の火山活動解説資料（平成 24 年 3 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 2）

式根（丹後山の西南西約 4 km）に設置してある遠望カメラでは、丹後山山頂部に噴気は認められませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図 3 - ①②、図 4 ※）

新島付近を震源とする火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 3 - ③※）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

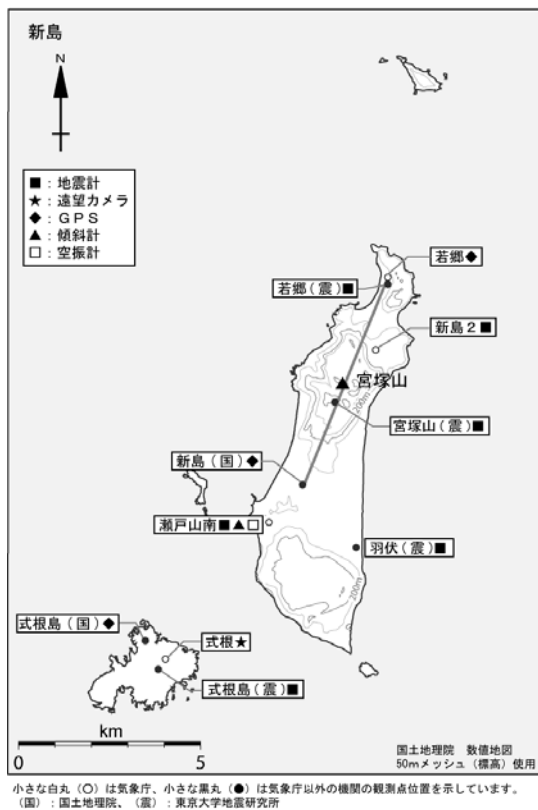


図 1 新島 観測点配置図

GPS 基線は図 3 の③※に対応しています。



図 2 新島 丹後山山頂部の状況
(3月20日、式根遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 4 月分）は平成 24 年 5 月 10 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

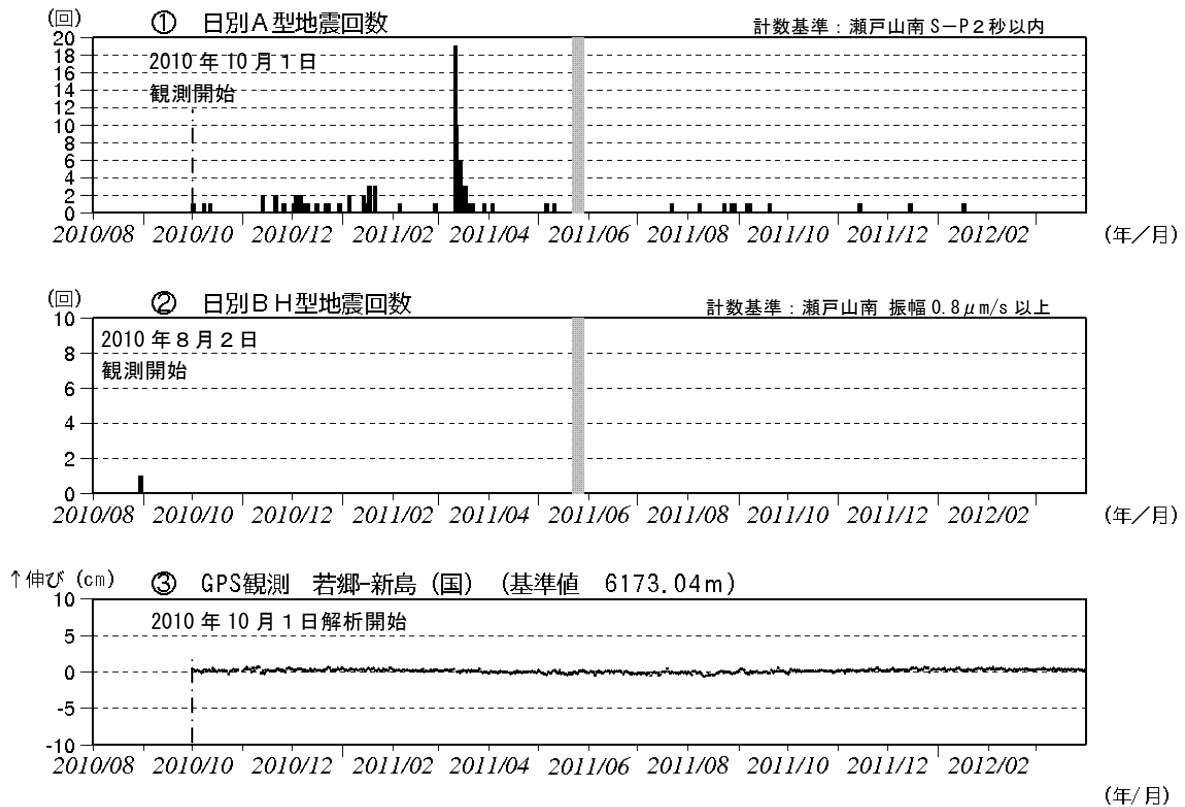


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月～2012年3月)

- ①②新島周辺の日別地震回数 図の灰色部分は機器障害のため欠測。
- ③※ GPS 連続観測による基線長変化 (国)：国土地理院
- ③※は図1のGPS基線に対応しています。

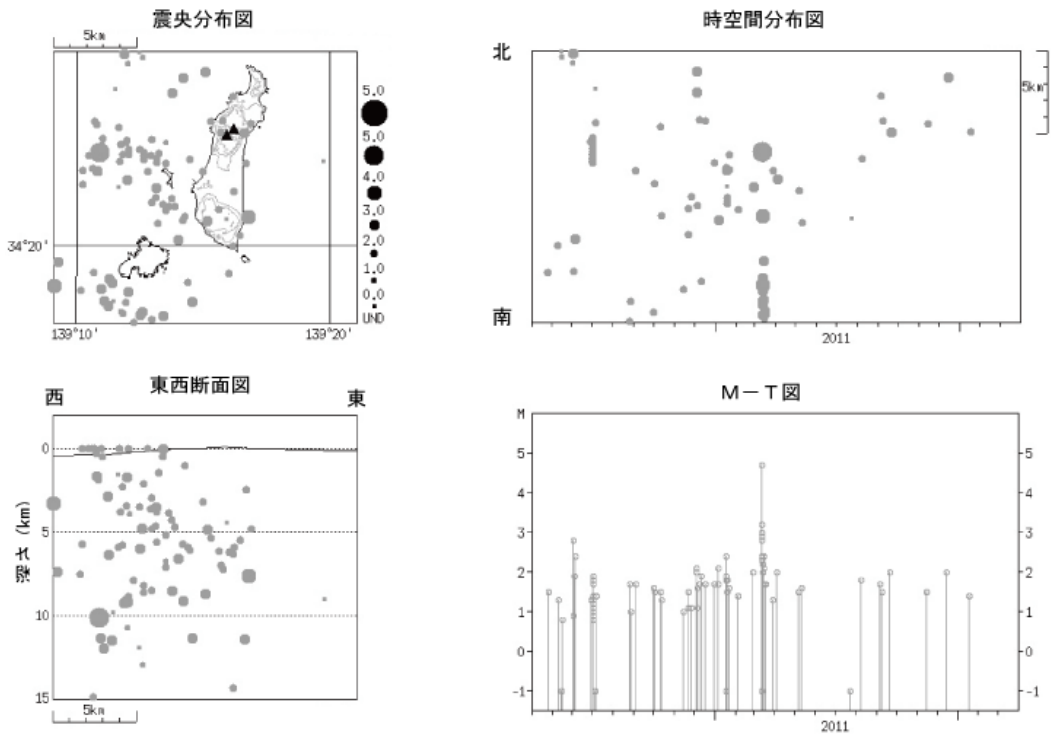


図4※ 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2010年4月1日～2012年3月31日)

●：2010年4月1日～2012年2月29日 ●：2012年3月1日～3月31日

M (マグニチュード) は地震の規模を表します。

今期間、震源が決定された地震はありません。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。